

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	年平均 9.0日	年平均 10日以上	①充実		●	③新規	
<b>事業の概要</b>								
市職員の年次有給休暇の取得を促進し、職業生活と家庭・地域生活のバランスの取れた、健康的な生活を支援する。								
<b>平成29年度実績</b>								
平成29年4月～平成30年3月までの年次有給取得日数(病院局除く) 平均9.2日(前年度 9.0日)								決算額
								-
								実績値
								9.2日
								進捗状況
								3
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
目標値を大幅に上回っている部署もある一方で、その半分である5日に達していない部署もあるなど、部署間での偏りが大きい。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
<b>平成30年度予定</b>								
夏期休暇との併用による連続休暇の取得や月1日ペースの計画的な取得を呼びかけるなど、取得促進の啓発を図りたい。								予算額
								-
								目標値
								年平均10日以上

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			①充実		●	③新規
<b>事業の概要</b>							
休業・休暇制度について国に準じて制度を整備するとともに、制度の周知を行う。							
<b>平成29年度実績</b>							
育児・介護に係る休業・休業制度については、国に準じて制度の整備を行っており、29年度においても正規職員及び嘱託職員への介護時間導入、嘱託職員への長期介護休暇の導入や育児(部分)休業取得要件の緩和、育児休業延長期間の緩和など、拡充を図っている。 また、これら休業・休業制度の全容をまとめた「両立支援ハンドブック」を作成し、30年度当初よりその周知を行っている。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
「両立支援ハンドブック」については、休業等取得の要件・手続等だけでなく、休業中の給与・社会保険料の取扱いといった経済的支援に関する具体的な解説や質疑応答集なども掲載しており、制度を利用しようとする職員にとって把握しやすい内容となっている。制度の利用促進に向けては、当事者である職員だけでなく、所属長の認識や必要性に対する理解が重要だと考えている。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成30年度予定</b>							
今後も、国に準じて制度の拡充を行うとともに、制度に関する管理職の理解促進など、より実体的な制度の運用が図られるよう努めたい。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への短時間勤務制度の導入	総務課			①充実		●	③新規

**事業の概要**

平成20年度より、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことができるよう、正職員に育児のための短時間勤務制度を導入した。

勤務形態：3時間55分/日×週5日(週19時間35分)、4時間55分/日×週5日(週24時間35分)、7時間45分/日×週3日(週23時間15分)、7時間45分/日×週2日+3時間55分/日×週1日(週19時間25分)

**平成29年度実績**

平成29年度の育児短時間勤務者：なし(育休からの復職者3名)	決算額	-
	実績値	0名
	進捗状況	4

**事業に対する評価・課題等**

育児の状況や家族の協力体制、働き方に対する希望などは職員個々で異なり、それに応じて短時間勤務の要否も左右される。一方で、29年度までは制度の周知が不足していたことから、復職するに当たって多様な働き方の中から選択が可能となるよう、利用可能な制度として浸透させる必要がある。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

**平成30年度予定**

育休からの復帰予定者に対して面談を行い、必要に応じて短時間勤務を勧めるなど、本人のニーズに沿った働き方を提案したい。また、短時間勤務の請求があった場合には、取得にあたり本人及び所属課ともに支障がないよう配慮に努める。	予算額	-
	目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	1名超過	年間上限 360時間	①充実		●	③新規	
<b>事業の概要</b>								
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市職員の時間外勤務時間の削減を行う。								
<b>平成29年度実績</b>								
31,682時間(病院局以外) 前年度比8,477時間増 年間360時間超過職員:2名(前年度比 +1)								決算額
								-
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								2
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
時間外勤務を行った職員の平均時間数は月6時間程度であった。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
<b>平成30年度予定</b>								
時間外勤務の要否の精査、働き方の見直しによる効率化・省力化、業務の平準化など、時間外勤務の縮減に向けて所属ごとに主体的かつ具体的な取組みが図られるよう、研修等を通じて意識啓発に努めたい。								予算額
								-
								目標値
								年間上限360時間

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所・子育て支援センター事業	福祉課			①充実		●	③新規
<b>事業の概要</b>							
保育所(園)・地域子育て支援センターなどの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。							
<b>平成29年度実績</b>							
認定こども園や保育所、地域子育て支援拠点事業を行っている園にて、イベント等における協力など父親の子育て参加に対する意識啓発を実施							決算額
							0千円
							実績値
							80%
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
意識して啓発を実施し、男女共同参画ができています。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成30年度予定</b>							
特になし							予算額
							0千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	福祉課 【教育総務課】	80%	100%	①充実	●	②継続	③新規

**事業の概要**

保育所(園)・地域子育て支援センター・幼稚園・小学校などの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。

平成29年度実績	
保育所や地域子育て支援拠点事業を行っている園にて、イベント等における協力など父親の子育て参加に対する意識啓発を実施	決算額
	0千円
	実績値
	80%
	進捗状況
	4

**事業に対する評価・課題等**

意識して啓発を実施し、男女共同参画ができています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成30年度予定	
前年度と同じ	予算額
	0千円
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	91%	100%	①充実		●	③新規

**事業の概要**

父親の子育て参加に対する意識啓発の促進。  
 学校行事、PTA活動等、学校教育活動への父親参加の呼びかけ。  
 よりよい子育てを目指しての研修啓発活動の実施。

**平成29年度実績**

通信等で、学校行事や参観日、PTA活動への積極的な参加を呼び掛けた。 父親が参加できるよう、日曜日に授業参観日を多く実施した。 参観日、市PTA親善球技大会、親子奉仕活動等の行事への父親の参加を呼び掛けた。	決算額
	実績値
	<b>92%</b>
	進捗状況
	<b>4</b>

**事業に対する評価・課題等**

資源回収・日曜参観日・PTA学級対抗レクリエーションバレーボール大会では、男性保護者の参加が多かった。  
 父親の学校行事への参加も増えつつあるが、さらに参加しやすい企画も考えていきたい。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	<b>4</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	<b>5</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	<b>4</b>

**平成30年度予定**

防災教育に力を入れ、父親を巻き込んだ家庭と合同の訓練を計画していく。 学校通信等を利用して、父親に学校行事への参加を積極的に呼び掛け、家庭の教育力向上に向け啓発を継続して行う。	予算額
	目標値
	<b>100%</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり</b>	
<b>推進方策</b>	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(3) 男性の家事・育児等への参画促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
両親学級	保険健康課			●				

事業の概要

妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とするものである。

平成29年度実績

【パパママスクール】						決算額
(対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者	回数	延人数	(再掲)妊婦	(再掲)夫	(別掲)子等	32千円
(場所・従事者) 宇和島保健センター・保健師、栄養士	5	113	58	55	0	実績値
(回数) 年5回(日曜3回・平日夜間2回)						5講座
(内容) 栄養についての講話、試食、夫の妊婦体験、父親の役割						進捗状況
妊婦体操、沐浴実習、育児についての講話等						5

事業に対する評価・課題等

- ・マタニティー編と育児編を合体させ、目的を「妊婦及び夫が親になる意識を高める」とし、育児面を重視した内容とした。
- ・毎回ほぼ定員いっぱいの参加で、全員が夫婦での参加であり、満足度も高い。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成30年度予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回、参加しやすい日曜日と平日の夜間開催予定。定員オーバーしてもキャンセル待ちを控え、出来るだけ参加出来るよう工夫する。</li> <li>・育児面を重視し、虐待予防や母親の自己肯定感についての内容を取り入れる。</li> </ul>	予算額
	20千円
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-